



那珂市議会広報編集委員会
令和5年10月18日発行 No.79

議会だより

* 特集 *

絵本は読んでもらうもの
瓜連おはなし会ルピナス
インタビュー

Contents (目次)

特集	2	請願・陳情の審査結果	16
令和4年度決算	4	閉会中の議会活動	17
議案等審議	6	議員と語ろう会	20
一般質問（質問者13名）	9	次回定例会の開会予定	22

写真：那珂市にコウノトリ飛来（木崎地内）

* 特 集 *

絵本は読んでもらうもの 瓜連おはなし会ルピナス インタビュー

会の名前の由来は、バーバラ・クーニーの絵本「ルピナスさん」。主人公が世の中を美しくするために、少しずつ種をまいて、色とりどりのルピナスの花で島中をいっぱいにしたように、子どもたちの心に物語の種をまきたいという願いが込められています。今回は読み聞かせボランティア「瓜連おはなしの会ルピナス」の皆さんからお話を伺いました。



子どもたちの心に物語の種をまいて

ゆたかな心を育みたい

「瓜連おはなし会ルピナス」の結成経緯を教えてください。

2000年春、総合センターらぼーるに図書室が新設されたのを機に、教育委員会による読み聞かせ講座が始まりました。子育て中に絵本を満喫し、もっとたくさんの子どもたちに絵本

の楽しみを届けたいとメンバーが集まり、読み聞かせ活動がスタートしました。

会員数とメンバー構成を教えてください。

初代会長以降、2代目、3代目と続き、現会長は4代目になります。
今現在の会員数は女性16

名、男性1名の計17名です。

どのような活動をしていますか。

瓜連の小中学校や芳野小学校、幼稚園、保育園、学童保育所などで毎月1〜2回ほど読み聞かせ活動をしています。また、私たちの活動拠点である「ルピナス

文庫」とらぼーる図書室でのおはなしの会、絵本講座や読み聞かせ講座も行っています。

読み聞かせで紹介した絵本はリスト集を作成して、情報を共有しています。子どもたちの年齢に合った良い本を届けたいという願いから、毎月の定例会や学習



瓜連おはなし会ルピナスの皆さん

会などでの話し合いや絵本の読み合わせも大切な活動として行っています。

今後の目標はありますか。

学校や幼稚園などで読み聞かせの楽しさを十分に味わってもらい、私たちが20年以上続けてきた読み聞かせ活動を次世代へもつなげていきたいと思っています。また、長く読み継がれてきた絵本の楽しさ、大切さをしっかり伝えていきたいと思っています。

市や市議会に対してどのようなことを期待しますか。

那珂市には、市立図書館とらぼーる図書室の2つがあり、他の市に誇れる財産ではないでしょうか。私たちルピナスは、主にとらぼーる図書室を基盤に活動していますが、市立図書館との連携がより一層図られればよいと願っています。

令和4年度のお金の使われ方を確認しました

一般会計歳出決算

227億1907万円

特別会計歳出決算総額

108億9848万円

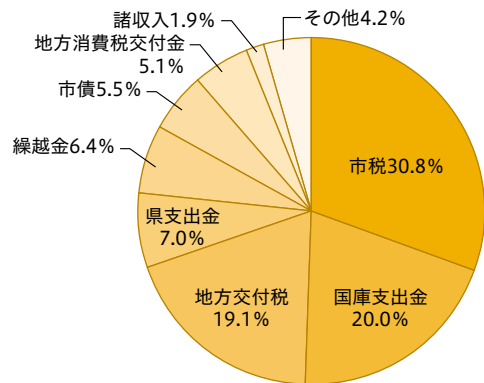
※上記金額は、万円未満を四捨五入したものです。

会計別歳出決算額

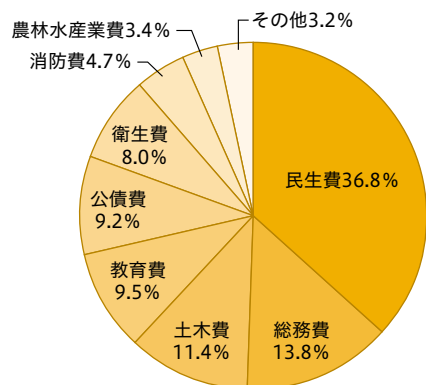
一般会計	
	227億1906万6598円
特別会計	
国民健康保険	51億9151万943円
公園墓地事業	1011万2805円
介護保険	49億577万9507円
後期高齢者医療	7億9098万9987円
那珂地方公平委員会	9万1382円
水道事業会計	
収益的支出	11億1114万2603円
資本的支出	17億9735万1454円
下水道事業会計	
収益的支出	16億3034万9710円
資本的支出	17億7522万2087円

市長から令和4年度の決算が提出されました。決算の審議は、9月11日から13日の3日間にわたり、各常任委員会でを行いました。その結果、令和4年度の決算を全て認定しました。

ここでは、今回確認した令和4年度のお金の使われ方と、主な事業についてご紹介します。



一般会計歳入



一般会計歳出



電力・ガス・食料品等価格高騰の影響を受けた生活者に対し、消費の下支えとなる支援を行い、新しい生活様式に沿うキャッシュレスの推進で市内の消費を喚起するとともに、感染症の影響を受けた事業所を支援するものです。

キャッシュレス決済
ポイント還元事業
事業費
9662万5604円

ナカカ

那珂市地域おこし協力隊

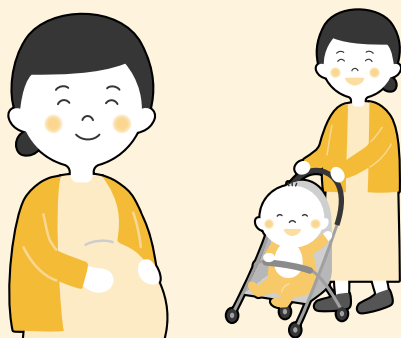
Community-revitalizing Cooperator Squad In Naka City

いい那珂協力隊推進事業

事業費

1342万円

三大都市圏など都会の住民を受入れ、地域の活性化に資する「地域協力活動」に従事してもらい、移住定住を図る活動を支援します。地域協力隊は市が委嘱し運営を事業所に委託する方式で実施したものです。



妊娠届や出生届を行った妊婦・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援（計10万円相当）を支給する事業です。

出産・子育て応援給付事業
事業費
2865万円



農業の担い手となりうる新規就農者について、地域おこし協力隊の制度を活用し本市に居住して就農のための活動及び新規就農希望者を呼び込む活動を行う人材の確保を図るものです。

新規就農協力隊推進事業

事業費

520万円

●令和5年 第3回定例会●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 18日間 9月5日～9月22日

《傍聴者 127人》

今回提出された議案等は

市長提出案件…16件

請願・陳情…1件

議会提出案件…0件

計17件

提出された議案等とその結果（賛否が分かれた案件はありませんでした。）

議案等番号	議 案 等 名	内 容	結果
報告 8	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。 （物損：9万4281円）	—
報告 9	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。 （物損：29万7000円）	—
報告10	令和4年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による健全化判断比率の状況について	実質公債費比率、将来負担比率など早期健全化の基準以下。	—
報告11	令和4年度決算に基づく地方公共団体の財政の健全化に関する法律による資金不足比率の状況について	水道事業会計、下水道事業会計とも資金不足なし。	—
報告12	令和4年度那珂市水道事業会計継続費精算報告書について	那珂市水道事業に係る継続費について精算したことによる報告。	—
報告13	令和4年度那珂市下水道事業会計継続費精算報告書について	那珂市下水道事業に係る継続費について精算したことによる報告。	—
議案40	那珂市印鑑条例の一部を改正する条例	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴うもの。多機能端末機による印鑑登録証明書の交付に際し、移動端末設備による交付を可能にするもの。	可決
議案41	那珂市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に対する防疫作業手当の特例を廃止し、新たな変異株等に対応するため、新型インフルエンザ等に対する防疫作業手当の特例を講じるもの。	可決
議案42	那珂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴うもの。法律改正に伴う項ずれの対応。	可決

議案等番号	議 案 等 名	内 容	結 果
議案43	那珂市火災予防条例の一部を改正する条例	消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の改正に伴うもの。火災予防条例の急速充電設備、避雷設備、喫煙等に関する規定の改正。	可決
議案44	令和５年度那珂市一般会計補正予算（第５号）	歳入歳出それぞれ２億5236万円を増額し、総額を237億6848万2000円とするもの。複合型交流拠点施設「道の駅」推進事業において、道の駅経営及び運営企画に関するアドバイザー業務に係る委託料の計上など。	可決
議案45	令和５年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第１号）	歳入歳出それぞれ9895万4000円を増額し、総額を48億4895万4000円とするもの。高額医療合算介護予防・生活支援サービス負担金、国県負担金等返納金及び一般会計繰出金の増額。	可決
議案46	公の施設の指定管理者の指定について	那珂聖苑の現在の指定管理者である代表団体が会社合併並びに商号変更するため、改めて指定管理者を指定するもの。	可決
議案47	令和４年度那珂市各種会計歳入歳出決算の認定について	前年度決算。４～５ページを参照。	認定
議案48	令和４年度那珂市水道事業会計決算の認定について		認定
議案49	令和４年度那珂市下水道事業会計決算の認定について		認定
請願２	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	請願・陳情の内容は16ページを参照。	採択

総務生活常任委員会

◆議案第47号

令和４年度那珂市各種会計歳入歳出決算の認定について

○いい那珂サイクルプロジェクト推進事業（184万1533円）

国及び県の自転車活用推進計画に基づき、那珂市における自転車活用による地域活性化等に向けた取り組みを総合的・計画的に進めていくため、那珂市自転車活用推進計画を策定し、サイクルツーリズム等を推進していく事業です。

Ｑ 矢羽根表示についての反響はありますか。

Ａ 認知度が低いという実感があります。広報などを活用し、ドライバーに向けて自転車が行走するためであることを周知するなど、安全な自転車活用を推進し、計画に基づいて設置

していききたいと思います。

Ｑ 奥久慈里山ヒルクライムルート活用推進協議会の負担金は、どういった内容でしょうか。

Ａ 主なものは、イベント事業費、サイクルサポートステーションの費用になります。

Ｑ 他市町村での金額の多寡はあるのでしょうか。

Ａ 那珂市、常陸太田市、常陸大宮市、大子町、城里町は一律同額です。水戸市は大洗・ひたち海浜シーサイドルートの構成市町村にもなっているため、別になります。

Ｑ ツール・ド・北海道の事故がありました。本市でのイベントにおいて事故の発生はあったのでしょうか。

Ａ 本市でのサイクルイベントは、レースではなく前後にサポーターを付け、信号を守り安全を確保して実施しています。これまでに事故が発生したことはありません。

◆議案第44号

令和5年度那珂市一般会計補正予算(第5号)

○複合型交流拠点施設

「道の駅」推進事業
(1711万円)

10月に設置する各種準備委員会のアドバイザー業務として計上します。

Q 道の駅の経営アドバイザー業務と運営企画アドバイザー業務とはどのようなものですか。**A** 経営アドバイザー業務は、「道の駅」の運営における事業採算性など、経営的な視点に着目した事業計画の立案により持続可能な施設運営を実現するための総合的支援を委託するものです。運営企画に関するアドバイザー業務は、「道の駅」の運営に係るコンセプト企画や地域資源の発掘など、施設の誘客力を向上させる戦

略的な事業展開に向けた総合支援を委託するものです。

Q 各種準備委員会を立ち上げるようですが、この業務の位置づけはどのようなになっていますか。**A** 各アドバイザー業務はそれらの委員会へ参加し、提案、助言を行い市が目指す道の駅の明確化を検討します。**Q** 依頼する業者は決定しているのですか。**A** 経営アドバイザー業務は、総務省の地域力創造アドバイザー制度に登録されている業者を対象に考えています。予算としては一般財源になりますが、特別交付税措置を受けられますので、活用していきたいと考えています。運営企画アドバイザー業務は、道の駅が観光の拠点としての役割もありますので、魅力的な観光コンテンツの立案や誘客力向上などを戦略的に支援できる業者に委託したいと考えています。**Q** アドバイザー業務によつて利益が出ないと分か

れば事業を取りやめますか。

A 基本計画では交通量による売上高や損益分岐点を試算していますが、今後は運営におけるコンセプトを明確化し、魅力ある道の駅になるよう検討しつつ、商圏による需要予測を行います。

全員協議会

◆報告事項

公立学童保育所における民間事業者への委託の検討について

那珂市公立学童保育所の運営は、年々利用者が増加していること、利用児童やその保護者のニーズが多様化していること、近年支援員の安定的な人材確保が困難であること、支援員の資質向上が必要であることなど多くの課題が生じています。そこで、さまざまな課題解決のため公立学童保育所の運営について、民間事業者へ委託することを検討します。

今後の予定は、令和5年度内に方針決定や進め方などの検討を重ね、令和6年度に公募開始、事業者の選定を進め、事業運営開始に向けた取り組みを進めていきます。

Q 人材確保の課題は民間事業者でも同じだと思いますが、民間に委託して課題解決できるのでしょうか。**A** すでに県内では30市町村で民間委託しています。民間事業者の中には、全国的に学童保育事業の事業自体を受託している事業者など、公立よりも人材派遣などのノウハウやネットワークがありますので、人材確保できるものと考えます。**Q** 公立だからこそその安心感がありますが、民間委託することのメリットなどを教えて下さい。**A** 民間委託について、公設公営のメリットと民間事業者のメリットなどの比較も行いながら、今後検討していきます。

一般質問



《質問者 13名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

P 10 寺門 厚 議員

- ◇広域避難計画について
- ◇2040年までの那珂市財政見とおしについて
- ◇国道118号線バイパス計画について

P 10 小池 正夫 議員

- ◇那珂市の学童保育について
- ◇地域計画策定に向けた取組みについて
- ◇基盤整備事業の進捗について

P 11 古川 洋一 議員

- ◇学童保育所における長期休業期間の昼食の提供について
- ◇学校特別教室等へのエアコン設置について
- ◇給食費の管理について
- ◇街灯電気代の契約等について
- ◇イベントの創設について

P 11 大和田和男 議員

- ◇市内の人材育成・人材発掘について
- ◇都市基盤整備の取り組みについて

P 12 花島 進 議員

- ◇ふるさと納税制度について
- ◇聴覚障害について
- ◇ひばりが丘交差点近くの廃屋処理の総括について
- ◇教育向上策について
- ◇下水道会計の見通しについて
- ◇市内駅の自転車置き場について
- ◇地籍調査の現状について
- ◇東海第2原発の再稼働問題について
- ◇病気・怪我の時の障害認定について
- ◇池上団地近くの地盤などの状況について

P 12 寺門 勲 議員

- ◇マイナンバーカードについて
- ◇教育環境の推進について
- ◇安全・安心のための助成について

P 13 富山 豪 議員

- ◇消防団について
- ◇保育・幼児教育行政について
- ◇学習支援について

P 13 武藤 博光 議員

- ◇中核都市圏ビジョンについて
- ◇額田城周辺の状況について

P 14 福田耕四郎 議員

- ◇農業用水路、排水路の整備、維持管理について
- ◇儲かる農業について

P 14 原田 陽子 議員

- ◇公共施設のトイレ整備について
- ◇事務事業評価について

P 15 君嶋 寿男 議員

- ◇子ども達の支援について
- ◇市内の小中学校施設の現状について

P 15 遠藤 実 議員

- ◇買い物弱者支援について
- ◇少子化対策のさらなる充実について
- ◇行政評価制度について
- ◇道の駅について

P 16 木野 広宣 議員

- ◇公務員の働き方改革について
- ◇防災について

広域避難計画について

東海第二原発再稼働について 議会や市民の意見を考慮し判断



寺門 厚 議員

Q 去る8月21日に東海第二発電所安全対策首長会議にて、放射性物質拡散シミュレーション及び国のエネルギー政策について説明がありました。その中で、国のエネルギー政策について、市長の見解を伺います。

A 市長 長引くウクライナ情勢や電気代の高騰などエネルギー事情が目まぐるしく変化する中で、脱炭素社会の必要性に向けて国が進めるGX基本方針の趣旨は、理解いたします。原子力の活用については、国の方針に東海第二発電所の再稼働も含まれていますが、国の動向に左右されることなく、市民の安心安全を最優先して各課題の解決に取り組んでいきます。

Q 東海第二発電所の再稼働について、東海第二原発立地周辺6市村自治体の安

全協定の中で、「日本原電は1自治体でも再稼働に反対すれば再稼働しない」と確認していますが、この判断について変わりありませんか。さらに、その1自治体となつてもよいという意思を市長はお持ちですか。市長に伺います。

A 市長 現在もこの方針に変わりありません。東海第二発電所の再稼働については、議会や市民の皆様のご意見を十分に考慮し、完全安心を最優先に考え慎重に判断します。今後新安全協定に基づく協議会が設置されます。その中で、6市村の連携を強化し、安全対策の追求をするともに様々な協議事項に対して、那珂市としての意見をしっかりと述べていきます。

那珂市の学童保育について

木崎学童保育所の修繕について 必要に応じて修繕を行っています



小池 正夫 議員

Q 木崎学童保育所については、旧木崎幼稚園を利用してありますが、老朽化も目立ちます。建て替えや修繕などの予定はありますか。

A 保健福祉部長 木崎学童保育所の旧木崎幼稚園舎については、築50年になつており、老朽化している状況です。

木崎学童保育所に限らず、公立学童保育所については、必要に応じて軽微な修繕等を行っています。国において「新・放課後子ども総合プラン」が平成30年に示され、放課後児童クラブと放課後子ども教室の両事業について令和5年度末までに、約30万人分の受け皿を整備する目標が掲げられています。この両事業を整備する場合には、学校施設の余裕教室などを活用することが推奨されています。

す。今後、木崎学童保育所を含め、公立学童保育所で老朽化などにより整備が必要な場合は、既存施設の活用ができないか検討しながら取り組んでいきたいと考えます。

Q 那珂市において、学童保育の待機児童数はどのくらいですか。

A 保健福祉部長 本市の学童保育所における待機者数は、令和5年8月1日現在、5人となっています。内訳は、菅谷東学童保育所が1人、五台学童保育所が4人となっています。



学童保育所における長期休業期間の昼食の提供について

学童保育所で昼食提供できないか

早い時期にできるよう検討する



古川 洋一 議員

Q 夏休み等の長期休業期間中、特に共働き家庭のお子さんは学童保育所を終日利用する場合が多いですが、給食がないため昼食は弁当持参を求めているのが現状かと思っています。親御さんにとって毎日早起きして弁当を作る負担は大きく食中毒の危険もあることから、多くの保護者から昼食を提供してもらえたら有難いとの声が上がっています。学童保育所でも昼食を提供できないか伺います。

A 保健福祉部長 保護者が弁当を作る手間を考えると提供できるのが望ましいと考えますが、食物アレルギーの問題、宅配弁当の請負業者が見つかるか、必要と考える支援員を配置できない状況での業務増などの理由から、現状での昼食提供は困難と考えます。

Q 給食センターの持つノウハウや人員配置、また給食を作る必要のない学校の休業期間中の話であることから、給食センターが調理をして提供することも可能ではないでしょうか。

A 教育部長 長期休業期間にしかできない設備の大規模修繕や備品の更新、調理機器の消毒・点検等の作業を実施していることから、給食センターからの提供は難しいと考えます。

Q 他の自治体では宅配弁当の利用や給食センターが提供している事例があります。先進事例を調査研究し前向きに検討してほしいかかがでしょうか。

A 保健福祉部長 学童保育所の公設民営化も検討しており、早い時期に提供できるよう実現に向けて前向きに検討していきます。

都市基盤整備の取り組みについて

道の駅と同時に都市基盤整備も

躊躇なく投資していきます



大和田和男 議員

Q 瓜連から飯田までの国道118号の4車線化に伴い、その沿道の区域を開発で活用できませんか。また五台地区の国道349号バイパス沿道は商業地区等に活用できませんか。

A 企画部長 民間企業等から開発の意向がある場合は、その可能性などについて課題を整理していきます。

Q すべての都市計画道路に連続照明を設けるべきですが、せめてこれから着工する都市計画道路には設けるべきです。

A 建設部長 すべてに設置することは規模も大きく、財源等を考慮すると難しいです。しかし、これから着工する都市計画道路については歩道を照らす照明の整備に向けて、関係部署と調整を進めていきます。

Q 下菅谷駅周辺整備が進

み、新築家屋が増え、税収の伸びが顕著になっていきます。市南部住民の生活向上に繋がる下菅谷駅前広場、駅舎整備をするべきです。

A 建設部長 都市計画道路の供用開始後を視野に、駅と併せて駅前広場の整備に着工できるよう、J・Rとの協議や関係手続について進めていきます。

Q 持続可能な道の駅にしたいと思いますが、本来市税は住民のために使われるものです。都市基盤整備の恩恵を神崎地区、額田地区、五台地区、戸多地区、芳野地区、木崎地区、瓜連地区に広げ、那珂市全体の利便性向上を図るべきです。道の駅と同時に都市基盤整備に力を入れていただきたい。

A 市長 総合的に判断し、投資すべき分野には躊躇なく投資します。

ふるさと納税について

ふるさと納税の収支はいかがか 約4000万円の赤字です



花島 進 議員

Q ふるさと納税の制度について、説明してください。

A 企画部長 「ふるさと」に貢献したいという方々が、生まれ育ったふるさとや応援したいと思う自治体を選択して寄付できる制度です。そして、2000円を超える寄付を行ったときには、所得税や住民税から一定の控除を受けることができ、また、納税に対するお礼として、地域の名産品をもらうことができます。

返礼品の調達に係る経費は寄付額の3割以下とし、返礼品の調達や送料、事務手数料などの募集にかかる経費を含めて5割以下とする基準も併せて守らなければならぬことになっています。

Q ふるさと納税の収支の現状を那珂市と県内で多くのふるさと納税を受けてい

る境町の例で説明ください。

A 企画部長 那珂市のふるさと納税の寄付受領額は、令和4年度で5730万円です。募集の経費は2734万円で、残額は2996万円でした。那珂市民が他市町村にふるさと納税をしたことによる税額控除額は7230万円で、実質4234万円の赤字です。

県内で一番ふるさと納税を集めている境町は、受領額が59億5348万円、経費が28億1386万円、町外への納税による税額控除額が2362万円で、31億1600万円の黒字でした。

なお、県内44市町村中18市町村が赤字です。

安全・安心のための助成について

ヘルメット購入費用の助成を 意識啓発から始めていきます



寺門 勲 議員

Q 見守りを行っている団体の安全・熱中症対策として資機材の補助はできないのでしょうか。

A 市民生活部長 市においては、「那珂市安心で安全なまちづくり事業補助金交付要綱」第2条第2項に書かれている防犯パトロールや防犯意識啓発などの活動を行っている団体に対して、活動に使用する帽子や視認性を良くする反射ベストなどを用意するための補助金を、団体の設立時に1団体につき1回交付しています。

現状、それぞれの団体の活動にあった安全対策を図っていますので、改めての交付は考えていません。

Q 命を守ることにつながる自転車用ヘルメットが着用努力義務になっていきます。本市で、未来ある子ども

もたちの命を守るために、高校生の自転車用ヘルメット購入費用の助成について、先崎市長の考えを伺います。

A 市長 議員がおっしゃるように、令和5年4月から自転車利用者にヘルメット着用が努力義務化となりました。高校生のヘルメット着用率が低いというようなことも言われているようです。

高校生に自転車用ヘルメット着用を促すためには、まず、意識づけが大切だと思います。

ヘルメットの購入費助成につきましても、ヘルメットの着用推進に有効性はあるかもしれませんが、まずは、ヘルメット着用の意識啓発を進めていくことから始めていきます。

消防団について

OB団員の協力システムの構築を 災害対応に支障が出れば考える



富山 豪 議員

Q 近年では、災害の激甚化、頻発化が問題視されてきており、常備消防へのサポートを含め多岐にわたる消防団の役割は重要度が増してきているとも言われています。その一方で、社会情勢や価値観の変化などに伴い、団員のなり手不足が深刻な状況にある自治体も出てきています。今後也將来にわたり消防団を継承していくには団員の確保が重要です。そこで、現在の消防団員の充足はどのような状況にあるのか伺います。

A 消防長 消防団員の条例定数464人に対し、9月1日現在の団員数は407人で充足率は約88%です。

Q その中で市外勤務者はどのくらいいますか。

A 消防長 団員407人中、199人が市外勤務者となっています。

Q 団員の年齢層はどのようになっていますか。

A 消防長 団員の平均年齢は50歳で、年齢分布は20代が約2%、30代が約13%、40代が約31%、50代が約40%、60代以上が約14%です。

Q 約半数の団員が市外勤務である現状と団員の減少を合わせて考えると、団員が集まらないために現場に出場できない状況も想定されます。そこで地域にいる団員OBの方々に協力をいただくシステムがあれば助かると思うが、いかがですか。

A 消防長 災害対応は、管轄分団で対応しているため、現在支障はきたしていません。しかし人員不足がさらに進み、対応に支障をきたすようであれば考える必要があると思います。

中核都市圏ビジョンについて

圏内の現状と広域合併の目安は 9市町村で広域連携に取り組む



武藤 博光 議員

Q いばらき県央地域連携中核都市圏ビジョンでは具体的な取り組みとして30事業ありますが、進捗状況はどうなっていますか。

A 企画部長 主な取り組みとして、生活環境の充実では公共交通の維持・確保事業として水戸市の水都タクシー、ひまわりタクシーで2市間相互乗入れを継続実施しました。また婚活支援事業として婚活セミナー、マッチングイベントを開催し、合計60人が参加、14組マッチングが得られ参加者から好評でした。

Q 連携中核都市圏ビジョンでは将来像を掲げていますが、どのような内容ですか。

A 企画部長 圏域の目指すべき将来像「自然と歴史、芸術と科学が織りなす未来」世界につながるいばらき

ど真ん中」を掲げ、水戸市が中心として広域連携を一層深化させた取り組みを実施し、圏内全体の活力を創出し持続可能な都市圏づくりを目指します。

Q 昭和30年には額田村や菅谷町など7町村が合併して那珂町が、平成17年には那珂町と瓜連町が合併して那珂市が出来ました。連携中核都市構想の先に令和の広域合併があると思います。いつ頃の見込みかお聞きます。

A 市長 連携中核都市圏構想は人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持する拠点を形成する制度です。合併に関する話題は現在のところ出ていません。

農業用水路、排水路の整備、維持管理について

基幹水利施設管理事業の実施を

早期導入を目指していきます



福田耕四郎 議員

Q 農業水利施設が老朽化しています。整備して半世紀が経過し、特に震災後、随分ひどくなっており、機能しているのか非常に疑問です。施設の管理は、自分も耕作者として他の皆さんと協力しながらやっています。しかし、施設などの老朽化は我々の手には負えないところもあり、問題になっています。このことを踏まえて、担当部署でこれから目配り、気配りをさらにお願したい。維持管理については、市と土地改良区の管理区分があいまいになっていることが災いし、支障をきたしているのではないかと感じています。

A 産業部長 国の制度で

ある多面的機能支払交付金制度、並びに那珂市土地改良事業補助金等により支援しています。また、下江戸揚水機場の電気料金の高騰で経営が圧迫されているとの相談があり、国の「基幹水利施設管理事業」で負担軽減を図れるよう関係機関と協議を進めていきます。

Q 米価が安値で推移し、経費もかさむ状況では、稲作は儲かりません。土地改良区の維持管理費の軽減を図ることで、農家の負担が軽減すると考えられる「基幹水利施設管理事業」の早期実施を国等に働きかけてもらいたいが、いかがか。

A 市長 農家の負担軽減にもつながる可能性がある、この「基幹水利施設管理事業」につきましては、早期の導入を目指していきたいと考えています。

公共施設のトイレ整備について

誰もが利用しやすいトイレに

利用しやすいトイレ整備は必要



原田 陽子 議員

Q 公共施設のトイレの洋式化が進みましたが、不特定多数の人が利用する公共トイレの場合、洋式トイレを使用することに抵抗感があるという意見があります。一方、和式トイレは体に負担がかかる、床が汚れやすいという衛生面を懸念する声もあり、女性にとってトイレはこだわる対象であり、外出先ではトイレを選んで利用している方は多いものです。そこで多くの市民が利用する市役所本庁舎などのトイレについて、洋式化率を伺います。

A 総務部長 多くの市民が利用する市役所本庁舎など10施設のトイレ整備状況は、大便器189基のうち95基が洋式で、洋式化率は50・26%になります。

Q 各施設において、トイレの洋式化や多目的トイレ

の新設などに関する計画や改修方針はどのようなになっていますか。

A 総務部長 施設の改修は公共施設マネジメント計画により実施することとしており、そこにトイレ等の整備も含まれています。

Q 誰もが利用しやすいトイレとなるよう、改修する際には転倒防止のための手すりや便座のシートクリナー、さらに流水音が流れる擬音装置を設置してはいかがでしょうか。

A 総務部長 市民に快適に施設を利用していただくためにも、誰もが利用しやすいトイレに整備することが必要と考えます。今後、トイレを整備改修する際には、手すり・便座クリナー・擬音装置の設置も考えていきます。

子ども達の支援について

スポーツ競技での市としての支援 交付している制度を周知していく



君嶋 寿男 議員

Q 那珂市内の中学校の部活動として関東大会、全国大会に出場する子供たちへの市の対応は。また、市内の部活以外のほかのスポーツ競技で活躍し、関東、全国、世界大会に出場する子供たちもいますが、市としての対応を伺います。

A 教育部長 市教育委員会では、そのような大会に部活動で出場する場合と、部活動以外で出場する場合のそれぞれにおいて補助金や報奨金の制度を設けており、大会に出場するにあたり必要な旅費や宿泊費に充てられるよう財政支援をしています。

また、毎年2月には、教育表彰式典を開催し、部活動はもとより、スポーツ少年団、スポーツクラブ、個人で大会に出場し優秀な成績を収めた児童生徒に対し表彰しています。また今年

度、特別奨励表彰の制度が新設されました。

Q その制度は、今までありませんでしたが、いつ新設されたのですか。

A 企画部長 この表彰は様々な分野、すべての年代で、本人のさらなる活躍を期待することを伝え、市民に広く周知する目的で、8月25日に那珂市表彰規則を改正して制定しました。

Q 報奨金制度があるということを市民はほとんど知らないと思います。報奨金制度があるということをも市民の皆様にも広く周知していただきたいのですが、いかがですか。

A 教育部長 広報やホームページ、SNS発信のほか、市スポーツ協会やスポーツ少年団に対しても機会を捉え周知をしていきます。

道の駅について

道の駅に関する説明会の開催を 必要に応じ丁寧な説明会をしたい



遠藤 実 議員

Q 道の駅の総工費はいくらで、財源をどう考えていますか。また、年間の想定利用者数と売上、固定経費と利益はどのくらいですか。

A 産業部長 総工費は約26億円で各省市の交付金や補助金の活用が可能です。また、想定利用者数は年間77万5000人で、平均客単価950円を乗じた売上見込みは約7億3600万円です。固定経費は約1億円で、利益は飲食施設を直営方式にした場合、約7800万円、テナント方式にした場合は約1600万円です。

Q 那珂市の道の駅の主力商品は何か。また市内の類似施設にとって、道の駅が出来る影響をどう考えますか。

A 産業部長 今後設置する各委員会で検討を重ね、

主力商品を見極めていきます。また、各直売所が相乗効果を生む共存共栄が可能な体制構築に向けて協議を進めていきます。

Q 道の駅が起爆剤となつて那珂市が活性化すれば大いに素晴らしいことですが、一方で多額の経費を投じながら赤字を続ける経営になれば、その借金は市民が負担することになります。市民生活に大いに影響のあることなので、早期に市民に対する説明会をぜひ開催していただきたいと思いますがどうですか。

A 産業部長 昨年度に基本計画を策定した段階で、まだ具体的な敷地の範囲や建物配置、導入機能や運営コンセプトなどについて決定していない状況です。今後、必要に応じて丁寧な説明会を実施してまいります。

気象防災アドバイザーの防災訓練 水戸地方気象台に相談する



木野 広宣 議員

Q 気象防災アドバイザーとはどのような人材なのか伺います。

A 市民生活部長 気象防災アドバイザーとは、法律に基づく国家資格ではありませんが、育成研修を受けた上で国土交通大臣が委嘱する気象防災のスペシャリストで、限られた時間の中で予報の解説から避難の判断までを一貫して扱える人材となります。令和5年8月時点で190名が委嘱されており、内訳は気象庁退職者84名、気象予報士106名で、茨城県在住者は2名となっています。

任用されています。

Q 気象防災アドバイザーの防災講座を行ってはと思いますが、本市の考えを伺います。

A 市民生活部長 防災講座は昨年度と今年度に中央公民館主催の講座で、気象予報士を講師として開催しました。

気象防災アドバイザーの防災講座の開催は予定していませんが、開催する際は、気象防災アドバイザーの情報を管理している水戸地方気象台に相談したいと考えています。

Q 気象防災アドバイザーの導入は考えているのか伺います。

A 市民生活部長 災害による住民避難が予想される際は、水戸気象台等から情報提供があるので現在は考えていません。

請

願

陳

情

今回の定例会で採決した請願・陳情の概要をお知らせします。

《請願 1件》

請願第2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

採択

水戸市笠原町978・46

茨城教育会館2F

茨城県教職員組合

執行委員長 中山 幸男

ほか234名

学校現場において解決すべき課題が山積している中で、子どもたちの豊かな学びを実現するべく、少人数

学級の推進、教職員定数改善、教育の機会均等及び水準の維持向上をはかるための義務教育費国庫負担制度の堅持を求めるものです。本会議での採決の結果、全会一致で採択と決定し、国の関係機関に意見書を提出することとしました。

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（6月～8月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します

議会活動日誌

6月	7月	8月
16日 議会広報編集委員会 議会ICT推進検討会視察	29日 議会広報編集委員会	27・28日 原子力安全対策常任委員会視察
21日 議会ICT推進検討会視察	5・6日 産業建設常任委員会視察 議会広報編集委員会◎	25日 教育厚生常任委員会 議会ICT推進検討会
22日 教育厚生常任委員会視察	11日 原子力安全対策常任委員会	20日 議会広報編集委員会取材 全員協議会
	13・14日 総務生活常任委員会視察 議会広報編集委員会取材 全員協議会	25日 教育厚生常任委員会 議会ICT推進検討会
		29日 議会広報編集委員会 全員協議会 タブレット操作研修会 議会広報編集委員会
		25・26日 横手市議会友好交流 議会運営委員会
		5日 議員と語ろう会
		2日 教育厚生常任委員会視察

◎…オンライン形式で開催

産業建設常任委員会視察 福島県に道の駅の運営状況などを調査

実施日 令和5年7月5日(水)～6日(木)
視察先 道の駅猪苗代・道の駅ふくしま

産業建設常任委員会は、「道の駅整備について」調査をしています。今回は、那珂市が目指す道の駅構想と類似するIC周辺の道の駅である「道の駅猪苗代」と、子育て拠点としても機能している「道の駅ふくしま」を視察しました。

さらに、道の駅の周辺も産業用地として開発され、しごとを生み出す核となっています。

当委員会では、これまでの視察や調査を踏まえ、市に対し要望をしました。

「道の駅ふくしま」は、室内型の子どもの遊び場を設け、周辺地域の子育て世代にも多く来客してもらう複合型施設として民間委託で運営をしています。

また、利益を考え、ランニングコスト削減が徹底されています。専用アプリ



道の駅猪苗代の視察の様子

総務生活常任委員会視察

太陽光発電設備の規制に関する条例について調査

実施日 令和5年7月13日(木)～14日(金)

視察先 千葉県野田市・埼玉県入間市

総務生活常任委員会の調査事項である太陽光発電について、条例を制定している自治体を視察しました。

野田市では、条例の対象施設を発電出力が30キロワット以上としています。

事前の事業届出を義務付け、市と協議するとともに、近隣住民等に対する事業の周知、設置又は維持管理等に係る遵守事項を定めています。近隣住民等への説明会は、制定当初、住民から求められた場合に行うこととしていましたが、事業内容を理解して頂くため、説明会の開催を義務化しました。

入間市では、ゼロカーボンシティ実現には、市内の再生可能エネルギーを最大限活用した地産地消が必要であり、設置に伴う乱開

発を抑制し、災害の防止、良好な環境及び景観を保全するため条例の制定に至りました。対象施設は10キロワット以上の設備で、事業者が太陽光発電事業を行うとする際には、市長の同意を得るものとしています。今回の視察を踏まえ、委員会として那珂市の太陽光発電設備に関する条例制定の必要性の可否など、議論をしていきます。



埼玉県入間市の視察の様子

原子力安全対策常任委員会

新潟県原子力安全課及び柏崎刈羽原発視察

実施日 令和5年7月27日(木)～28日(金)

視察先 新潟県庁・柏崎刈羽原子力発電所

原子力安全対策常任委員会は、新潟県の原子力安全対策課と柏崎刈羽原子力発電所を視察しました。

新潟県は、原子力発電問題に関して技術委員会を擁しています。過去には、福島原発事故を検証する委員会があり、現在は新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会としています。その委員の人は現状の原子力発電に批判的な知識人も含まれているという特徴があり、選任の経緯を聞きました。

原発事故への備えとしては、大々的な防災訓練を毎年行うほか、夜間訓練、冬季訓練など平均2か月に一回の訓練があるとのことでした。広域避難計画は出来てはいるものの、雪害時の

課題や一斉避難になつてしまう場合の渋滞問題があり、対応を国に求めているとのことでした。

柏崎刈羽原発は、今現在動いていないのですが、新しい規制基準に沿った工事を進め、当面は6号機と7号機、特に7号機の再稼働を目指しているとのことでした。今後も調査をしていきます。



柏崎刈羽原子力発電所の視察の様子

常任委員会調査報告

調査結果を集約し執行部に要望書を提出

◆産業建設常任委員会

◎調査事項

道の駅について

《調査完了》

委員会の調査事項「道の駅について」視察などを行い、8月の議員と語ろう会では市民の皆様のご意見を伺いました。道の駅は、現在構想段階ですが、今後、道の駅をつくるとなった場合の要望書を市に提出しました。

- 1 特色ある施設整備により活力ある那珂ICに。
- 2 市内の農畜産物を中心に魅力あふれる物販を。
- 3 実績ある駅長の採用と民間ノウハウの活用による人材育成。
- 4 整備における財源の確保と売上重視・責任所在の明確化で持続可能な道の駅整備。



◆教育厚生常任委員会

◎調査事項

介護について

《調査完了》

「介護について」に関して、委員会では地域包括支援センターの職員との懇談会や自治体への視察などを通し調査・研修をしてきました。その結果を踏まえ、地域包括支援センターについて要望書を市に提出しました。



- 1 介護人材の確保・育成・定着に関する課題解決へ取り組む。
- 2 介護職員の雇用の安定化や処遇の改善等を図る。
- 3 専門機関への相談体制の構築。
- 4 地域包括ケアシステム構築推進と効果的な運営を図る。

那珂市議会議員一般選挙

投票日

令和6年2月18日(日)



那珂市議会議員が令和6年3月9日で任期満了となるため、新たに18名の議員を選挙するものです。

議員と語ろう会



令和5年8月5日(土)に那珂市議会「議員と語ろう会」を開催し、テーマごとに3つのグループに分かれ、意見交換を実施しました。ここでは、市民の皆様からいただいたご意見の一部を紹介します。

◆開催概要

◎市中央公民館

午前9時30分～11時30分

一般参加者21人

◎総合センターらぼーる

午後1時30分～3時30分

一般参加者12人

※掲載しきれなかったご意見は、テーマ外のご意見を含め内容を精査し、市議会ホームページで紹介しています。



市議会HP

テーマ①

太陽光発電について

○まずは、条例を制定することが大事。その後で変更があれば随時改訂して対応してほしい。

○五台地区では太陽光パネルの設置で生態系が変わり自然が壊されているのが問題である。

○調整池があるところは良いが、ほとんどのところはない。大雨の時は大変心配である。

○太陽光の設置に伴い、井戸水が枯れたなど自然に優しいエネルギーではない。

○県のガイドラインでは申請制度となっているが、許可制度にして抑制地域を設けるなど検討してほしい。

○条例を作る際は、住民説

明会を必ず開催する条例にしてほしい。

○森林等の伐採により治水が悪くなり、排水も悪くなっている現状も考えてほしい。

○経年劣化に伴い、空き家と同じように放置された状態にならないのが懸念される。

○家庭用の蓄電池の補助をしてほしい。



テーマ②

那珂市IC周辺開発について

○トイレを有料にしている道の駅もあるようで、清潔感あふれるトイレは集客力の一つにもなると考えられる。

○道の駅の駅長は、商業やいろいろな分野で実績の有るかたが望ましい。

○那珂市内ばかりではなく、茨城県の特産品を集めてみては。県内の特産品が全て揃うような道の駅も良いと思う。

○道の駅には子どもの遊べる施設を併設して家族で食事をしながら遊んだり、楽しめるようにしてほしい。

○ドッグランやキッズスペース、スケートボード場などを併設するといろいろな年齢層のかたが楽しめる道の駅になるのではないか。



○那珂インター周辺にできる産業用予定地の中にショッピングモールなどを作るとたくさんの人が立ち寄るのではないか。また、多数の雇用が期待できる。

○道の駅整備には多額の費用がかかるため、市で他に使うための財源や予算が削られないようにしてほしい。

○那珂市周辺には、すでに道の駅がいくつかあるので競合してしまい、集客は見込めないのではないか。

テーマ③

子育てについて

○学童保育所や図書館以外にも夏休みに子ども達が自由に集まって安全に遊べる場所をつくってほしい。

○給食費完全無償化について、他自治体と同じように那珂市も進めるべき。

○給食費完全無償化を進めるより、子どもの事情に合わせた別の支援をお願いしたい。

○進学・就職しても地元に戻り、子育てしたいと思える那珂市に。そのためには、移住・定住につながる那珂市独自の子育て施策が必要である。

○若い両親が働きやすく、子育てがしやすい環境を整える必要がある。

○親と子が自由に遊べるスペース、遊具の揃った公園を整備してほしい。



いただいたご意見について、各常任委員会で執行部に伝えるべきものを分類し、市に伝えました。





まちかど

ニュース

なかひまわりフェスティバル

令和5年8月26日(土)
なかLuckyFM公園にて

次回 12 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
		本会議 (議案上程など)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問など)	
3	4	5	6	7	8	9
		総務生活 常任委員会	産業建設 常任委員会	教育厚生 常任委員会	原子力安全対策 常任委員会	
10	11	12	13	14	15	16
				議会運営委員会 全員協議会	本会議 (委員長報告、 議案等採決)	
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※会議は、原則として午前10時開会です。

令和5年第4回定例会：11月28日～12月15日

令和5年第4回(12月)定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっており、お住いの地区と年代を所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、11月17日(金)17時までに、議会事務局までご提出ください。

議会映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の映像を「YouTube」の動画サイトで公開しています。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

那珂市議会

検 索

(「那珂市議会」のページ内の「映像配信」から「YouTube」を開くことができます。)



編集後記

市内で活躍する女性団体に取材協力していただき、「特集」ページにインタビュー記事を連載することができました。

取材でお会いした皆さんが笑顔で活動している姿を目にし、免疫力を高める方法として家族や気の合う仲間と笑い合うことの大切さを思い起こしました。新型コロナウイルスやインフルエンザ流行の時こそ、笑いの効果で免疫力をアップ、笑顔で乗り切りましょう。(原田 陽子)

議会広報編集委員会

委員長 原田 陽子
副委員長 石川 義光
委員 小池 正夫
委員 大和田和男
委員 木野 広宣
委員 武藤 博光